



ユビキタス倉庫自動ロケーションシステム



フォークリフトに装置されたICタグリーダーが、倉庫内の床や棚に取付けられたICタグを読み取ることで、いつどの場所にどの貨物が置かれたかという情報をリアルタイムで把握することが可能になります。フォークリフト作業の記録が自動化されるだけでなく作業効率も可視化することができ、より効率的な倉庫オペレーションを実現します。

倉庫自動ロケーション管理ソリューション

▶▶ 貨物の倉庫への入出庫、ならびにロケーション状況を自動記録するシステムを開発いたしました。

従来

入庫後、手入力するためミスが発生しやすい



RFID導入後

パレット・棚にタグ貼付／フォークリフトに装着したリーダーでパレット棚IDを読む



▶▶ ロケーション認識方式は、倉庫の状況に応じて2つの方式を開発しております。

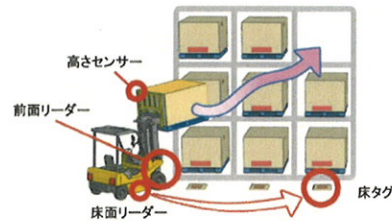
棚タグ方式

フォークリフトの前面リーダーで、棚タグを読み取る。
(同時にパレットタグも読み取る)



床タグ方式

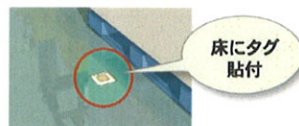
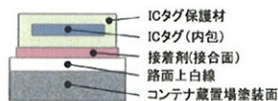
フォークリフトの床面リーダーで床タグを読み、高さセンサーで各段を認識する。(平置倉庫にも使用可能)



▶▶ 実際の倉庫におけるシステム導入の経験から、下記プロダクトを開発・販売しています。

床タグ

フォークリフトで踏んでも壊れないタグを開発しました。



* 住化ケムテックス株式会社との共同開発です。

フォークリフトへの実装ノウハウ

振動、衝撃への耐久性の確保、及び電圧降下の起きやすいフォークリフトでの電圧安定化を実現しております。



* 株式会社エヌ・エー・ピー・ラボとの共同開発です。